

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成29年2月8日
タイトル	水土里レポートが繋ぐ土地改良区の輪！ part 3
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成29年1月24日（火）徳島県の上板町北岸用水土地改良区 西木 弘理事長をはじめ、役員、職員の10名が視察研修に来られました。

2階大会議室において研修を行いました。まず福山市地産地消推進課より「福山市の農業概要及び耕作放棄地対策」について説明していただき、意見交換をしました。国の耕作放棄地対策とは別に福山市独自の対策についてや具体的な事例についての質問が多くありました。

続いて、杉原郁充常務理事から「土地改良区の概要」について、小坂主任から「三川ダム・七社頭首工の概要」佐々田から「21世紀土地改良区創造運動の取組」について説明しました。

質疑応答では、「収益があげられる農業」「施設管理者の高齢化」「経常費賦課金の徴収率」などについて活発な意見交換をすることができました。



同じ課題について意見交換しました！



みなさん熱心に説明を聞いてくださいました！

施設の視察として「七社頭首工」の視察をすることとなりバスで移動するため、一緒にバスに乗り込ませていただき、道中の土地改良施設や福山市の特産物である「くわい」の説明をしました。七社頭首工では頭首工や管理室の見学をし小坂主任が施設の説明をしました。



上板町北岸用水土地改良区が管理する施設には頭首工がないそうですが、用水施設として興味を持っていただき、頭首工の仕組みや魚道などについて熱心に質問しておられました。用水期になると角落しと言って木材を何本も設置することや転倒ゲートの操作点検等の日常管理について説明しました。



七社頭首工は疏水百選に選ばれた「芦田川用水」の取水施設で水がめの三川ダムからの放流水を一級河川芦田川より取水してかんがい面積約300ヘクタールに配水しています。

受益地の主な農作物は水稲ですが福山市の特産物である「くわい」の収穫のため、10月から12月は「くわい収穫期」として水利権があることが特徴です。

このように今回、徳島県吉野川水系の上板町北岸用水土地改良区と交流する機会に恵まれました。水土里ネット福山は21世紀土地改良区創造運動の一環として「水土里レポート」を継続的に投稿しており、このレポートをきっかけに平成28年度ではこれで3団体の視察研修となりましたが、今後も視察研修を積極的に受け入れ「水土里ネット」の輪をより広げてまいります。